

旧保健所跡地複合施設整備構想・整備計画 の検討状況について

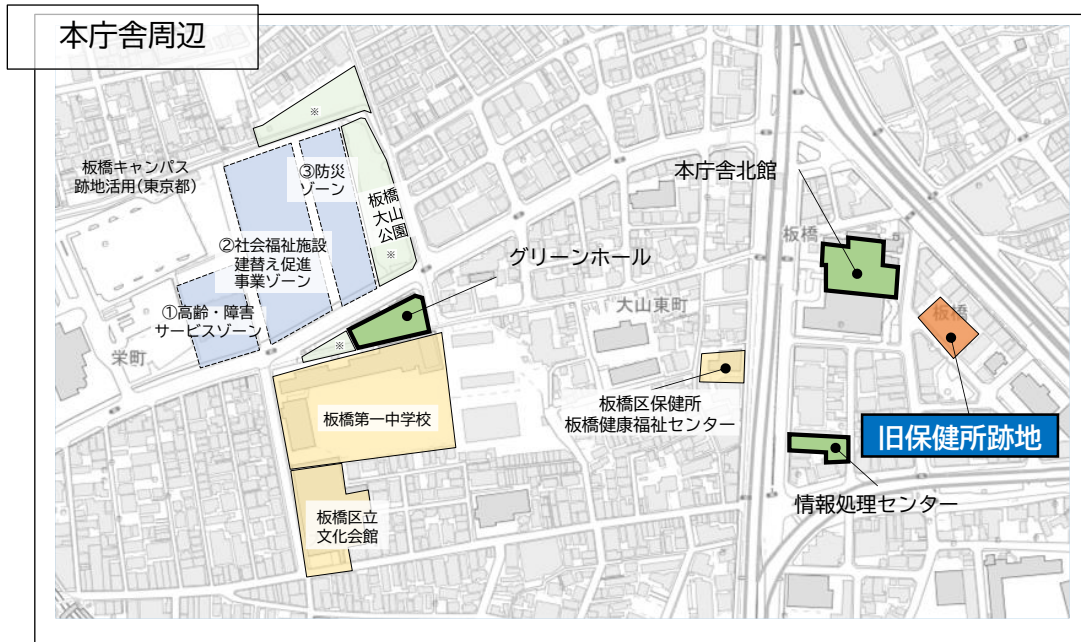
令和7年 12 月

目次

1	はじめに.....	1
(1)	これまでの検討経過.....	1
(2)	計画の目的.....	3
(3)	本計画の位置づけ.....	3
2	板橋区の文化施設の現状.....	4
(1)	文化施設(グリーンホール・文化会館)の概要.....	4
(2)	各施設の利用状況.....	5
(3)	施設運営者ヒアリング.....	7
(4)	施設利用者意見.....	7
3	区民意向の把握.....	8
(1)	令和6年度板橋区文化芸術に関する意識調査.....	8
(2)	区民説明会・アンケート調査.....	9
4	新施設の整備に向けた現状及び区民意向の整理.....	10
(1)	利用状況及び施設関係者の主な意見より.....	10
(2)	令和6年度文化芸術に関する意識意向調査からの分析.....	10
(3)	区民説明会・アンケートにおける主な意見.....	10
5	新施設に求められる機能.....	11
6	新施設の整備方針.....	12
(1)	新施設のコンセプト.....	12
(2)	整備する諸室・機能.....	13
①	多目的ホール.....	13
②	サブホール.....	13
③	会議室.....	13
④	執務室.....	13
⑤	ラウンジスペース.....	13
⑥	駐車場・駐輪場.....	13
(3)	ゾーニングイメージ.....	14
7	今後のスケジュール.....	14
(1)	スケジュール(案).....	14
(2)	原案までの検討項目.....	14

1 はじめに

(1) これまでの検討経過



旧保健所跡地 敷地概要

所在地	板橋二丁目 61 番 7 号 (住居表示)
敷地面積	1,314 m ² (実測面積)
用途地域	商業地域
建蔽率/容積率	80% (実質 100%) / 600% (実質 480%)

旧板橋区保健所 (以下、「旧保健所」という。) 跡地は、区役所本庁舎 (以下、「本庁舎」という。) に隣接し、都営三田線板橋区役所前駅徒歩 1 分に位置しています。

本庁舎周辺の公共施設については、老朽化や暫定利用の状態が続くなどの課題があるとともに、男女平等推進センターのように行政機能の一部が分散配置されているという課題も抱えています。

特に旧保健所は、平成 29 年度より閉鎖管理となっており (令和 7 年度現在は、駐車場として暫定活用中)、耐震上の観点からも早期の跡地活用が求められていました。

令和元年 9 月に、「本庁舎周辺公共施設再編方針」を策定し、旧保健所跡地の活用について基本的な考え方を示しましたが、コロナ禍など社会環境の急激な変化を踏まえ、令和 3 年 1 月に策定した「No.1 プラン 2025」では、同方針は一旦立ち止まり、令和 5 年度に必要な応じて見直したうえで、具体化は令和 6 年度以降に図る予定へ変更しました。

その後、令和 6 年 1 月に策定した「No.1 プラン 2025 改訂版」において、この間における社会環境の変化や次期基本計画を見据え、改めて旧保健所跡地の活用方針を見直し、令和 6 年 2 月に新たな活用方針を策定し、この活用方針を基にさらに検討を進め、令和 7 年 2 月に「旧保健所跡地整備構想・整備計画 中間のまとめ」を策定しました。

(1) 旧保健所跡地整備構想・整備計画 中間のまとめ（令和7年2月）

1. 本庁舎周辺で解決していくべき課題

- 利用者の利便性を考慮した相談機能（板橋福祉課含む）の適正配置
- 「板橋区立障がい者総合福祉センター（仮称）の設置を求める陳情」を踏まえた対応
- 男女平等推進センターの分散配置解消と機能充実
- ホールや会議室などの貸館機能の継続的な提供と機能充実
- 非常時にも柔軟かつ機動的に対応可能な多目的スペースの確保
- 本庁舎北館を改修する際の行政サービスの継続的な提供

2. 旧保健所跡地の整備方針

旧保健所跡地活用コンセプト

立地を生かし「日常的なにぎわいや交流を創出する拠点づくり」

① 地域の文化・交流ニーズへの対応

- ホール機能を活用し、地域住民の交流促進、文化芸術振興・多文化共生を実現する。

② 機能の充実化と災害対応力の強化

- 築50年を超えるグリーンホール設備の老朽化に対応するため、ホールや会議室機能の充実化などを図る。また、災害時の活動拠点としての役割も見据えた整備を施し、災害対応力の強化を図る。

③ 地域経済と社会の活性化

- 駅近という利便性を生かし、イベントや会議などを通じて、地域経済の活性化やコミュニティの連携強化の促進を図る。また、本庁舎と連動した催しや、住民サービスの向上を実現する。

3. その他の本庁舎周辺施設の課題解決の方向性

(1) 機能移転後のグリーンホール

ホールや貸会議室機能を移転した後のグリーンホールについては、健康長寿医療センター・板橋キャンパス跡地の高齢・障がい施設との連携の視点をもって、高齢・障がい・福祉の総合的・包括的支援拠点を整備する方向で検討する。

(2) 長寿命化改修を控えた本庁舎北館

本庁舎北館の長寿命化改修に際しては、行政サービスの継続的な提供が可能となるよう、本庁機能の再配置及び仮移転先の確保が必要となる。旧保健所跡地、情報処理センターに加え、必要に応じて、近隣の区有地の活用なども視野に検討する。また、改修に際しては、来庁者の利便性や業務の効率性、環境への配慮を意識した機能向上を図る。

(2) 計画の目的

「旧保健所跡地複合施設整備構想・整備計画」では、「旧保健所跡地整備構想・整備計画 中間のまとめ」までの検討内容を踏まえ、ホール機能を中心とした新たな複合施設を整備していくにあたり、グリーンホールにおけるホール、会議室といった貸館機能の移転の視点を含め、既存の区文化施設の現状と課題を抽出し、新施設で整備すべき機能等を改めて整理します。

その内容を基に新施設における施設概要等、コンセプトや整備の方向性、管理運営の方針について定め、設計に向けた諸要件を明確にします。

本資料は、令和7年度(2025)年度に策定する「整備構想・整備計画」の令和7年10月時点までの検討状況をまとめた資料です。

(3) 本計画の位置づけ

他の計画との関連性は以下の通りです。

(※現行の計画等を基に作成)



2 板橋区の文化施設の現状

(1) 文化施設(グリーンホール・文化会館)の概要



文化・集会に供することのできる区立施設は、以下の通りです。

文化・社会教育施設	文化・ホール	2 施設
	生涯学習施設	3 施設
集会・コミュニティ施設	地域センター	25 施設
	高島平区民館	1 施設
産業振興施設		2 施設

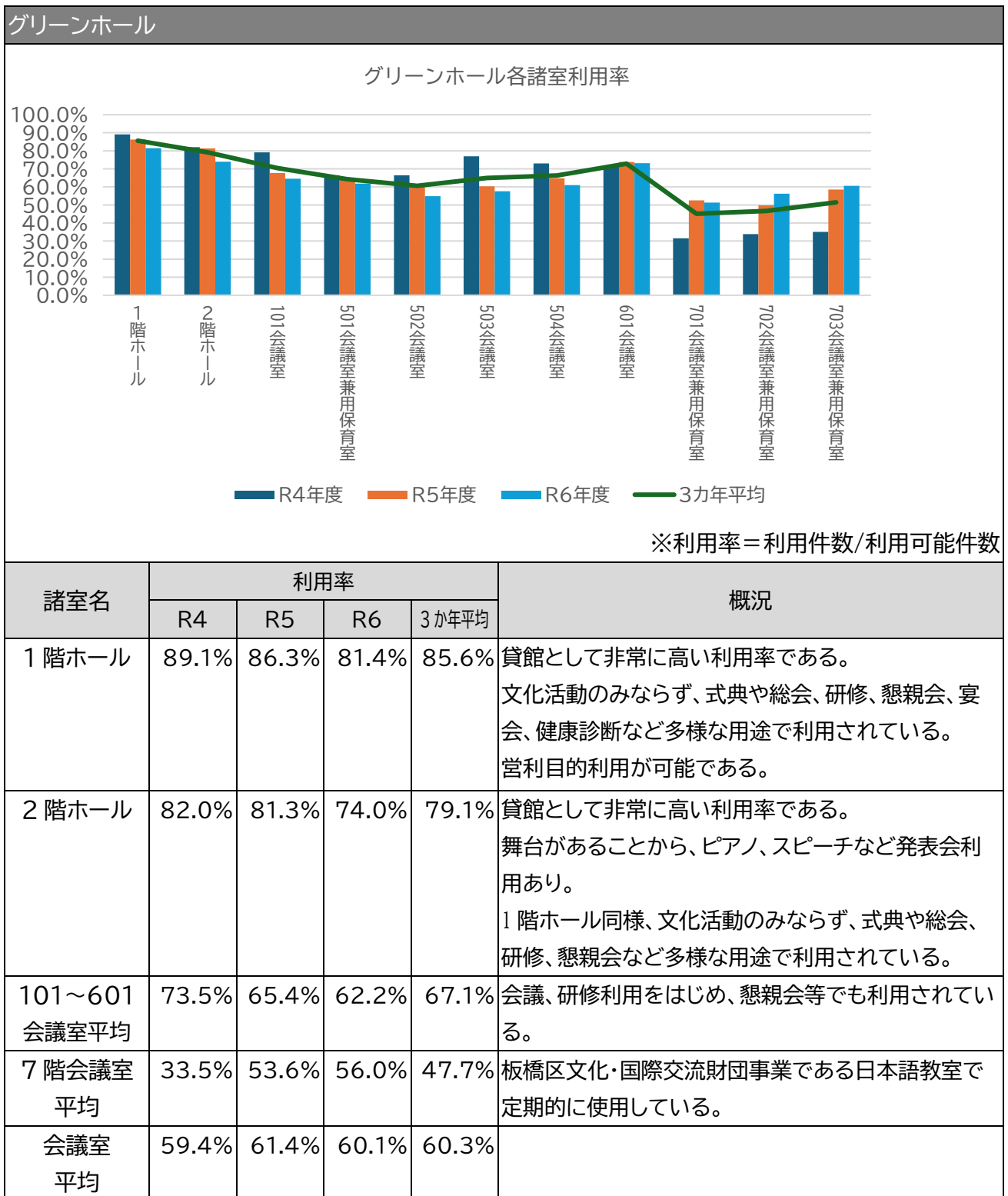
これらのうち、文化・ホールとして位置付けられているのがグリーンホールと文化会館です。

グリーンホールは、産業及び文化の向上並びに区民の福祉増進に寄与することを目的としており、施設の利用に供することが事業として掲げられています。

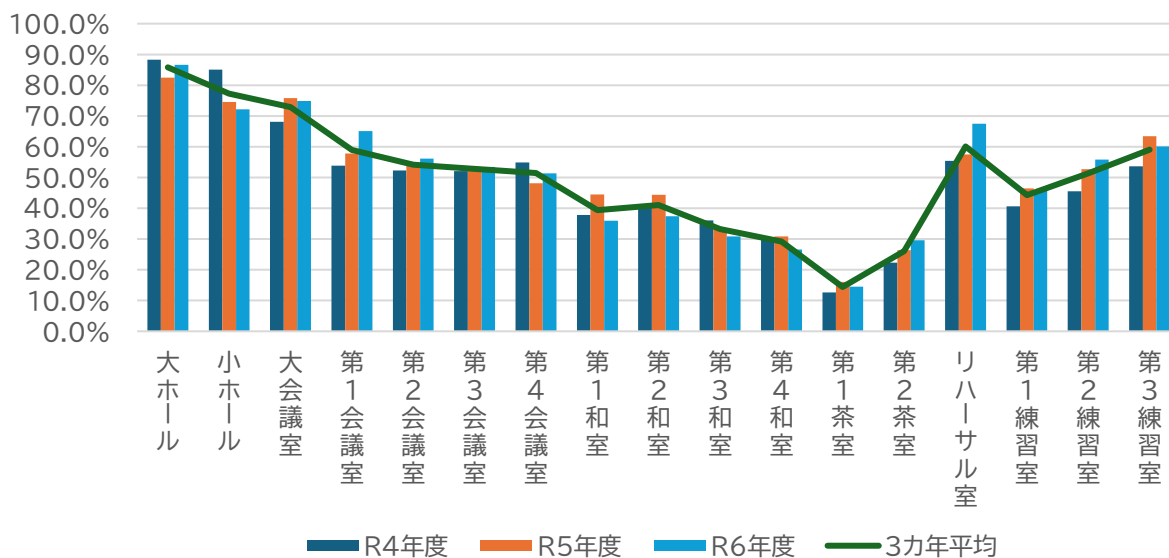
文化会館は、区民の文化及び福祉の向上を図るために設置されており、施設の利用、芸術文化の振興に関する事業を行うことが条例に掲げられています。

施設名	板橋区立グリーンホール	板橋区立文化会館
		
開館・竣工	昭和 44 年 4 月 1 日	昭和 57 年 10 月 28 日
所在地	栄町36-1	大山東町51-1
管理運営	(公財)板橋区文化・国際交流財団	(公財)板橋区文化・国際交流財団
面積	敷地面積 1,396 m ² /建築面積 1,020 m ² /延床面積 4,717 m ²	敷地面積 4,345 m ² /建築面積 3,587 m ² / 延床面積 12,493 m ²
施設構成	【貸出諸室】 1 階ホール:300 人(平土間) 2 階ホール:250 人(平土間)、舞台あり 集会機能:会議室 5 室、会議室兼保育室 4 室 【その他】 指定管理者執務室、レストラン、エントランスロビー、委託業務控室(舞台、清掃、警備、設備)、庁舎執務機能(板橋福祉課)、男女平等推進センター等	【貸出諸室】 大ホール:1,263 席(固定席) 小ホール:306 席(固定席) 練習機能:リハーサル室(40 名)、練習室 3 室 集会機能:大会議室(300 名)、会議室4室 和室 4 室、茶室 2 室 保育室 【その他】 指定管理者執務室、エントランスロビー、委託業務控室(舞台、清掃、警備、設備)等

(2) 各施設の利用状況



文化会館各諸室利用率



※利用率＝利用件数/利用可能件数

諸室名	利用率				概況
	R4	R5	R6	3年平均	
大ホール	88.3%	82.5%	86.6%	85.8%	舞台設備については、主催者の持ち込みでどの分野でも対応可能であり、様々な分野の文化芸術公演に利用されている。
小ホール	85.1%	74.6%	72.2%	77.3%	文化活動や研修での利用が多くある。文化活動としては音楽利用が多いが、金管楽器・打楽器の利用は不可となっている。
大会議室	68.1%	75.8%	74.9%	72.9%	他の会議室と比較して利用率が高く、宴会・式典等で利用されている。
第1～4 会議室平均	53.3%	53.2%	56.5%	54.3%	会議や研修利用が多い。
和室平均	36.3%	38.2%	32.7%	37.2%	茶華道等での利用を中心にかつた大会や、百人一首、詩吟などの活動にも利用されている
茶室平均	17.5%	21.3%	22.1%	20.3%	茶華道等での利用が主となっている。
リハーサル室	55.4%	57.5%	67.5%	60.1%	音楽、ダンスなどの練習に利用されている。(防音性能なし、床はダンス等への対応あり、バレエバーあり、ピアノあり、更衣室なし)
第1～3 練習室平均	46.6%	54.2%	53.9%	51.5%	第1・第3練習室は、ドラムセットの設置あり。

(3) 施設運営者ヒアリング

グリーンホール・文化会館の指定管理者である(公財)板橋区文化・国際交流財団へ、現在のグリーンホール及び文化施設に関するヒアリングを実施しました。

グリーンホールについて	
ホール共通	<ul style="list-style-type: none"> 防音性能が不足しており、打楽器、金管楽器の利用は音漏れ等の影響から制限せざるをえない。文化施設として楽器利用に十分対応しきれていない状況である。 1階、2階ともホワイエが狭く、大人数の利用者が待機できるスペースがない。 2階ホールと同フロアに行政窓口があるため、窓口に区民が集中来庁した際に、窓口来訪者とホール利用者として混雑してしまうことがあり、貸ホール運営として課題がある。
1階ホール	<ul style="list-style-type: none"> 形状が台形のため、利用者からは使いづらいという意見あり。
2階ホール	<ul style="list-style-type: none"> 扉が1重のため、音漏れしやすく、利用内容によっては途中入退場のしづらさにつながっている。 演者等の控室とロビーへの動線がホール内(または屋外)のみのため、セキュリティ面で課題がある。
会議室・執務室	<ul style="list-style-type: none"> 多文化共生及び国際交流に関する事業を展開するうえで、プライバシーを守ることのできる相談室などの確保が困難である。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 現施設には設置がないものの、主催者・関係者の車両や工事車両の滞留、障がい者が車両で来訪できるよう駐車スペースがあるのが望ましい。
駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> 駐輪スペースに自転車が駐輪しきれず、来訪者が歩行者道路へ駐輪してしまうことがある。
区の文化施設(グリーンホール・文化会館)について	
	<ul style="list-style-type: none"> 建築当初想定されていなかったユニバーサルデザインへの対応が不足しており、利用者動線に課題がある。 文化施設に求められる今日的な機能の不足がある。

(4) 施設利用者意見

施設を運営する(公財)板橋区文化・国際交流財団では、毎年度「利用者懇談会」を開催しており、日頃施設を利用している団体から、運営や施設について意見を聞き取っています。

以下は、令和5、6年度に実施した「利用者懇談会」におけるグリーンホールの施設・設備に関する主な意見です。

グリーンホールについて	
ホール共通	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の利用制限を(防音対策や運用の工夫による対応を含め)緩和してほしい。
1階ホール	<ul style="list-style-type: none"> 段差があるので、バリアフリーにしてほしい。
2階ホール	<ul style="list-style-type: none"> 舞台面をもっと広くしてほしい。 老朽化に伴い楽屋環境面等で著名な講師を迎える際に申し訳なく感じてしまう。
会議室	<ul style="list-style-type: none"> 室内温度の調整が難しい。 細長い部屋を借りたが、声が遠く、利用のしづらさと感じた。

3 区民意向の把握

(1) 令和6年度板橋区文化芸術に関する意識調査

	区民	区内中学生	区外住民
調査対象	18歳以上 2,000人	区内中学2年生 788人	都内他区 18歳以上 600人
調査期間	令和6年8月23日～ 9月20日	令和6年9月2日～ 9月27日	令和6年9月2日～ 9月5日
回収結果	有効回収数:729票	有効回収数:712票	有効回収数:600票

主な回答

設問	区民	区内中学生
区等に実施してほしい公演等	1位:国内外の優れた公演等(47.7%) 2位:身近な場所での公演等(23.9%) 2位:親子で楽しめる公演等(23.9%)	1位:身近な場所での公演等(17.7%) 2位:親子で楽しめる公演等(17.1%) 3位:板橋でしか見られない公演等(14.5%)
文化施設の訪問度・満足度	訪問度 1位:区立文化会館(58.7%) 2位:区立図書館(56.9%) 3位:グリーンホール(44.5%)	1位:区立図書館(52.8%) 2位:区立美術館(33.0%) 3位:区立文化会館(30.3%)
	満足度 1位:中央図書館・いたばしボロニヤ絵本館(83.6%) 2位:区立図書館(72.1%) 3位:区立文化会館(71.8%)	1位:中央図書館・いたばしボロニヤ絵本館(87.7%) 2位:区立図書館(84.1%) 3位:区立美術館(80.8%)
文化施設が利用されるために重要なこと	1位:誰もが気軽にくつろげる空間(61.7%) 2位:情報をわかりやすく提供等(59.4%) 3位:板橋ならではの文化に触れる(20.9%)	1位:誰もが気軽にくつろげる空間(55.8%) 2位:情報をわかりやすく提供等(28.8%) 3位:板橋ならではの文化に触れる(21.8%)
子どもの文化芸術活動に必要な取組	1位:子ども参加・体験型事業(66.0%) 2位:学校での文化芸術教育充実(44.6%) 3位:子ども対象の鑑賞機会充実(44.2%)	1位:子ども参加・体験型事業(59.1%) 2位:学校へのアーティスト派遣(23.7%) 3位:学校での文化芸術教育充実(23.6%)
文化施設への要求	1位:館内環境の充実(43.5%) 2位:休憩・飲食ができる空間(40.5%) 3位:レストラン等の飲食店(34.3%)	1位:館内環境の充実(48.9%) 2位:休憩・飲食ができる空間(43.4%) 3位:レストラン等の飲食店(40.6%)
区における文化芸術振興の取組満足度	1位:絵本のまち板橋の取組(34.3%) 2位:板橋らしい文化芸術創造支援(17.6%) 3位:文化芸術活動の場の充実(11.7%)	—
今後区が重点的に取り組むべきこと	1位:子ども等の文化芸術機会(51.6%) 2位:伝統文化の保存・継承・周知(41.2%) 3位:板橋らしい文化芸術創造支援(36.2%)	1位:板橋らしい文化芸術創造支援(32.2%) 2位:誰でも鑑賞・活動等できる環境(22.2%) 3位:子ども等の文化芸術機会(21.9%)

(2) 区民説明会・アンケート調査

【説明会】旧保健所跡地整備構想・計画の検討状況について

開催月日	令和6年11月2日、6日
開催場所	板橋区役所人材育成センター、板橋地域センター
参加人数	延べ25人

【アンケート】旧保健所跡地整備構想・計画の検討状況について

実施期間	令和6年10月22日～令和6年12月19日
実施方法	区ホームページ(Logoフォーム)によるオンラインアンケート
回答者	31人

【説明会】旧保健所跡地整備構想・計画 中間のまとめについて

開催月日	令和7年3月23日、24日
開催場所	常盤台地域センター、板橋地域センター
参加人数	延べ77人

※旧中央図書館跡地活用方針(案)に関する説明と合同実施

【アンケート】旧保健所跡地整備構想・計画中間のまとめについて

実施期間	令和7年3月19日～3月31日
実施方法	区ホームページ(Logoフォーム)によるオンラインアンケート
回答人数	49人

※旧中央図書館跡地活用方針(案)に関するアンケートと合同実施

【アンケート】新施設に関するアンケート調査

実施期間	令和7年7月28日～7月31日
実施方法	アンケート会社登録モニターを対象としたオンラインアンケート
回答人数	613人(区民520人、在勤在学93人)
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> 新施設に期待することとして、「誰もが気軽に訪れることができる広場やスペース」や「カフェ・ラウンジなど会話をしながら自由にくつろげる交流スペース」などの回答が多く、交流機能へのニーズが高いことが伺えました。 多目的ホールで重視すると良いと思われるのは、「フレキシブルな空間設計」や「展示やイベントなどにも使うことができること」の回答が多く、多様な利用ができることが重視されています。また、「音楽の演奏が可能な設備があること」が、「演劇やダンス等の舞台公演ができるような環境」よりも多くなっています。 貸室として「飲食ができる室」の回答が多く、飲食を伴う利用への期待が高くなっています。

4 新施設の整備に向けた現状及び区民意向の整理

(1) 利用状況及び施設関係者の主な意見より

文化施設(グリーンホール・文化会館)の利用率は一部諸室を除いて高水準となっています。特に両施設におけるホールの利用率は非常に高く、利用者満足度の観点からも区民の文化芸術の振興に寄与する施設となっています。また、利用目的も多岐にわたり、文化活動のみならず、式典や総会・懇親会、研修など様々な用途で利用されています。

一方で、グリーンホールは、防音性能が十分ではないことによる一部楽器の利用制限について改善を求める声、利用率の高いため希望の日程で施設の予約が難しいといった声があります。また、ホワイエやトイレなど、ホール周辺環境についても改善や充実を求める声もあります。

さらに、建築当初想定されていなかった、ユニバーサルデザインへの対応が不足している点や、貸館機能と行政窓口の同フロア配置などから、利用者の動線に課題を抱えています。

(2) 令和6年度文化芸術に関する意識意向調査からの分析

区民及び区内中学生の1年間の文化芸術鑑賞率及び文化芸術活動の実施率は、区外住民を上回っており、区民及び区内中学生は区外住民と比較し文化芸術に関心が高い傾向があると考えられます。このことから、引き続き区民の鑑賞活動、文化芸術活動の場を提供し、活動を支援していくことが、更なる区の文化芸術振興につながると考えられます。

区などに実施してほしい公演等として、「身近な場所での公演等」が区民及び区内中学生の上位となっていることから、区内のアクセス性の高い場所での公演等の実施が一定その要求を満たすものと考えられます。

文化施設が利用されるために重要なこととして、区民及び区内中学生とも「誰もが気軽にくつろげる空間」が上位となっており、文化施設への要求として、「館内環境の充実」「休憩・飲食ができる空間」「レストラン等の飲食店」が上位に挙がっており、新たな文化施設を整備するにあたっては、これらの視点を取り入れた検討が必要です。

(3) 区民説明会・アンケートにおける主な意見

ハード面では、音楽や演劇の練習に適した音響の良いホールや、新しい音響機能を備えた練習室の設置を求める意見が見られました。また、現在のグリーンホールには駐車場が整備されていないため、利用者が必要に応じて利用できる駐車場についても整備を求める意見がありました。さらに、イベント開催が可能な多目的スペースや、多世代が自然に交流できるエリアやスペースを求める声も多く見られ、地域全体で活用できるフレキシブルな施設構成が求められています。

ソフト面では、利用者の視点に立ち、わかりやすい案内やシステムの導入など、区民が使いやすい環境を整備するとともに、日常的に足を運びやすく、地域コミュニティの活性化につながる施設運営を期待する声が見られました。

本計画に対しては、本庁舎周辺公共施設の再編として、単なる区有地の跡地活用にとどまらず本庁舎北館改修やグリーンホール、情報処理センターの行政機能の移転が関係する計画であることを、区民に対して示すことの必要性や可能な限り早期の施設整備を求める声に加えて、交通の便が良く、区民が集まりやすい場所であることから、区民の意見要望を取り入れた施設整備を求める声が見られました。

5 新施設に求められる機能

文化施設の利用状況や施設関係者へのヒアリング、区民意向の把握を通じて得た意見や傾向などを踏まえ、グリーンホールの設備の老朽化対応という視点を持つ、本施設の整備にあたって求められる項目について以下にまとめます。

項目1) ホール・会議室等の貸館機能の継続と充実

グリーンホールのホール及び会議室の利用率は高い水準であり、これらの機能継続と充実が必要です。また、ホールに関しては文化活動のみならず、飲食を伴う様々なシーンで利用されていることから、用途が限定されないフレキシブルな施設構成が求められるとともに、飲食が可能な貸室機能の整備に対する需要も確認されました。

項目2) 防音性の高いホール(使用できる楽器、活動の拡充)

グリーンホールは、防音機能が十分とは言えず、打楽器や金管楽器の利用については音漏れ等の影響から制限せざるを得ず、文化施設として楽器利用に十分に対応しきれていない状況です。

また、施設利用者や区民意向の把握からも、音楽や演劇のできる音響の良いホールを求めている意見も見られ、音楽機能を有するホールの整備が求められています。

項目3) 施設利用者が利用しやすい動線と諸室配置

アンケートでは「誰もが気軽に訪れることができる広場やスペース」や「カフェ・ラウンジなど会話をしながら自由にくつろげる交流スペース」などの回答が多く、交流機能へのニーズが高いことが伺えます。また、駅の近くという利便性を生かし、イベント等を通じた人流の創出をめざす本施設では、ハード・ソフトの両面から、利用者に配慮する環境づくりが必要です。

6 新施設の整備方針

(1) 新施設のコンセプト

立地を生かし「日常的なにぎわいや交流を創出する拠点づくり」

旧保健所跡地は、都営三田線「板橋区役所前駅」から徒歩 1 分という優れた立地を有しており、地域住民や、企業、団体等の多様なニーズに応える新たな公共施設の設置に適しています。本庁舎周辺で解決すべき課題、グリーンホールにおける貸館機能の継承などを踏まえ、以下の3つの視点から旧保健所跡地にホール機能を中心とした複合施設を整備します。

視点1 地域の文化・交流ニーズへの対応

ホール機能を中心に地域住民や団体等が日常的に利用できる施設を整備し、地域住民の交流促進、文化芸術振興・多文化共生を実現します。

視点2 地域経済と社会の活性化

駅近という利便性を生かし、イベントや会議などを通じて、地域経済の活性化やコミュニティの連携強化の促進を図ります。また、本庁舎と近接していることを活かし、連動イベントの開催や、住民サービスの向上を実現します。

視点3 機能の充実化と災害対応力の強化

築 50 年を超えるグリーンホール設備の老朽化に対応するため、ホールや会議室機能の充実化などを図ります。また、災害時の活用も見据えた整備を施し、災害対応力の強化を図ります。

(2) 整備する諸室・機能

① 多目的ホール

多目的ホールは可動席を備え、音楽活動や講演会など多様な用途に対応できる多目的ホールとして整備します。可動席を採用することで、公演やイベント内容に応じた柔軟な空間利用を可能とし、地域文化の発信拠点としての機能を高めるとともに、地域交流の促進により地域経済の活性化を図ることができます。ホールは、来館者が気軽に立ち寄れるよう、施設内でもアクセスしやすい位置に配置するなどの動線計画を検討します。

また、ホワイエや控室、倉庫などのバックヤードを適切に整備し、出演者・主催者・観客それぞれの動線に配慮した機能的なレイアウトとします。さらに、ホールが使用されていない時間帯には、ホワイエやラウンジスペースを開放し、地域住民が気軽に利用できる場としての活用も検討し、日常的なにぎわいを創出します。

② サブホール

サブホールは異なる用途に対応できる2室を整備し、多様な活動や利用形態に柔軟に対応できる空間とします。一方のサブホールは、式典、講演会、シンポジウム、カンファレンス等での利用が可能なホールの整備を検討します。もう一方のサブホールは、音楽活動の練習や多目的ホールで開催する活動のリハーサルなどにも対応できるホールの整備を検討します。

それぞれのサブホールに特徴を持たせつつ、フレキシブルな空間構成を検討し、多様な活動や利用形態に幅広く対応できる汎用性を確保します。

また、災害時等における、応援職員や関係機関の執務・滞在スペースとしての活用なども視野に入れ、非常時の柔軟な運用が可能な設計を検討します。

③ 会議室

会議室全体として、大きさの異なる部屋を複数計画し、利用しやすい環境を整備します。また、施設全体に明るさと広がりをもたらし、利用状況が見えやすくなることで透明性や安心感が高まり、利用や交流の促進を目的とした会議室の整備を検討します。

また、災害時等における、応援職員や関係機関の執務・滞在スペースとしての活用なども視野に入れ、非常時の柔軟な運用が可能な設計を検討します。

④ ラウンジスペース

ラウンジスペースは、軽飲食や会話を楽しみながら自由にくつろげる交流スペースとなる空間であるとともに、多世代が身近に文化・芸術に触れることができるようなギャラリーやイベントを開催できる空間を検討します。

また、災害時等には、帰宅困難者の一次滞在施設としての活用も視野に検討します。

⑤ 執務室

本庁舎北館、グリーンホール、情報処理センターをはじめとした本庁舎周辺の公共施設再編に伴う課題への対応や行政サービスの継続的な提供の視点、ファシリティマネジメントの視点を踏まえ、行政機能を配置することとし執務室を整備します。

配置する行政機能については、新施設のコンセプトや、整備するホール等との親和性、相乗効果を生み出すことが可能な行政セクションを検討します。

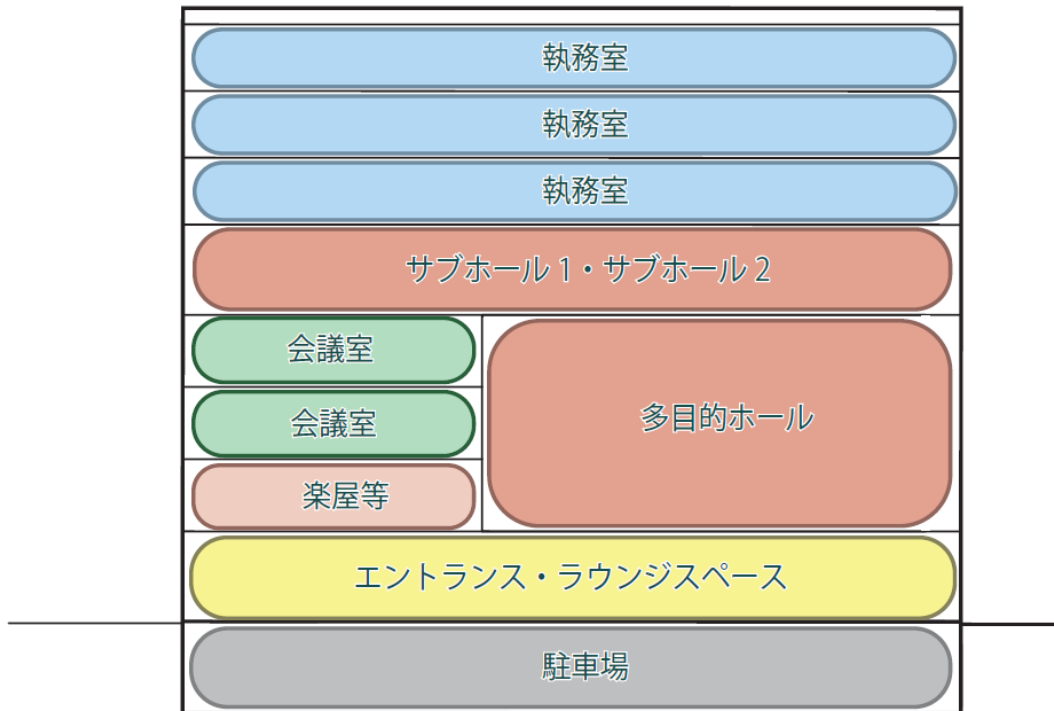
整備にあたっては、職員の働きやすさに寄与する計画を今後検討します。

⑥ 駐車場・駐輪場

施設運用に必要なサイズの車両・台数の整備を行います。

※代表的な室のみ記載しており、今後各種付随室の検討を行います。

(3) ゾーニングイメージ



※主要機能の配置イメージです。今後詳細な平面検討を行います。

7 今後のスケジュール

(1) スケジュール(案)

令和7年12月 検討状況について(本資料) 区民環境委員会報告
令和8年2月 整備構想・整備計画 原案 区民環境委員会報告
令和8年度～令和9年度 基本設計・実施設計
令和10年度～ 施設整備工事 (3年程度予定)

(2) 原案までの検討項目

- 管理運営の考え方
- 施設整備の考え方
- 施設整備計画
- 規模算定
- 基本機能の構成
- 法令条件
- 設備計画
- その他